



令和6年度

福 又 求

第48号

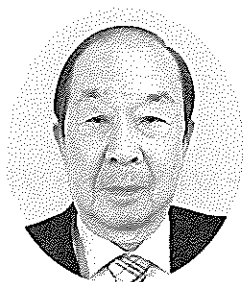
福島県スポーツ推進委員協議会

目 次

◇ 巻頭言 福島県スポーツ推進委員協議会 会長 松田 義	
◇ 挨拶 福島県文化スポーツ局スポーツ課 課長 穂本 哲哉	
1 令和6年度スポーツ推進委員功労者等表彰受賞者一覧	1
2 文部科学大臣スポーツ推進委員功労者表彰を受賞して	3
下郷村 玉川 森 男 須賀川市 吉田 澄子	
3 (公社)全国スポーツ推進委員連合功労者表彰を受賞して	4
福島市 水戸 眞由子 三春町 三瓶 清友	
会津若松市 石井 久子 南会津町 熊ヶ谷 頼子	
4 (公社)全国スポーツ推進委員連合優良団体表彰を受賞して	
該当なし	
5 (公社)全国スポーツ推進委員連合30年勤続者表彰を受賞して	6
川俣町 黒澤 敏雄	
6 東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞して	6
福島市 阿部 リヨ 伊達市 宗川 由則	
二本松市 服部 洋子 天栄村 佐藤 照昭	
古殿町 菅生 昌広 田村市 石塚 久美子	
西郷村 高木 昇 棚倉町 高橋 三樹	
会津若松市 松村 清子 会津美里町 星野 幸子	
只見町 佐藤 隆一 相馬市 蜂谷 万幾子	
いわき市 秋山 里美	
7 スポーツ推進委員の役割	12
8 第65回全国スポーツ推進委員研究協議会	15
9 令和6年度東北地区スポーツ推進委員研修会	16
10 令和6年度福島県スポーツ推進委員研究大会	17
11 第33回福島県女性スポーツ推進委員研修会	18
12 令和6年度福島県新任スポーツ推進委員研修会	19
13 全国研究協議会・東北地区研修会・県研究大会開催予定地一覧	20
14 分科会・シンポジウム担当割当表	20
15 令和6年度福島県スポーツ推進委員協議会役員名簿	21
16 令和6年度市町村スポーツ推進委員代表者・担当者一覧	22
17 各種表彰受賞者一覧	23
18 福島県スポーツ推進委員協議会規約	27
19 表彰規程	30
福島県スポーツ推進委員協議会表彰規程	
東北地区スポーツ推進委員協議会表彰規程	



二次元コード
 福島県ホームページ
 福島県スポーツ推進委員協議会



巻 頭 言

福島県スポーツ推進委員協議会
会 長 松 田 義

スポーツ推進委員の皆様には、日頃より地域住民の健康と体力の保持増進、そして生涯スポーツ振興に御尽力いただいております事に、心より感謝申し上げます。

令和6年度は、白河市で開催いたしました福島県スポーツ推進委員研究大会を始め、県協議会の諸行事を滞りなく開催することができました。スポーツ推進委員の皆様をはじめ、関係の皆様方に改めて御礼申し上げます。

スポーツの祭典「パリオリンピック・パラリンピック」が、フランスの地で開催されました。大会で見た選手の「笑顔」や「涙」は、これまでの厳しい努力の現れであり、多くの日本代表選手の活躍から勇気と感動をいただくとともに、改めてスポーツが持つ力を認識いたしました。

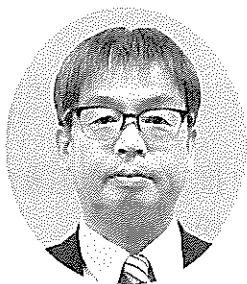
「東京オリンピック・パラリンピック」から3年がたちました。その間、様々な社会の変化に伴い、スポーツを取り巻く環境は大きく変化していることから、「オリンピック・パラリンピックレガシー継承」や、コロナ禍で進歩した「オンライン」を活用した研修などを通し、地域スポーツのコーディネーターとして、自己研鑽に努めていく必要があると考えております。

昨年の研修会では、新たな取り組みとして新任スポーツ推進委員研修会を県大会と一緒に開催することで、研修を受講しやすくするとともに、研修内容の充実に努めました。結果的に県大会参加者の増員につながったと考えております。さらに、女性スポーツ推進委員研修会では、市町村スポーツ主管課の担当者も一緒に研修することで、参加者がコロナ以降最多となり、地域スポーツの振興に向けた連携強化に繋がる取り組みとなりました。

令和7年度の東北地区スポーツ推進委員研修大会は、田村市で開催いたします。是非とも一人でも多くのスポーツ推進委員の方々に参加いただき、課題の共有を図りながら、資質の向上につなげることができる大会にしたいと考えております。

また、地域スポーツの新たな課題となっている部活動の地域展開について、我々スポーツ推進委員の役割は、まだ明確ではありませんが、スポーツ推進委員は幅広い分野での活動を期待されております。日々、努力と資質の向上に努め、地域に根差した活躍を期待しています。

最後に、「福スポ」発行にあたり御協力いただきましたスポーツ推進委員の皆様及び編集に携わっていただいた方々に御礼申し上げますとともに、県内スポーツ推進委員及び関係各位の皆様方の御健勝をお祈りし巻頭の言葉といたします。



挨拶

福島県文化スポーツ局スポーツ課
課長 穂本 哲哉

スポーツ推進委員の皆様には、日頃から、各地域においてスポーツ活動の推進役となり、本県生涯スポーツの普及・振興に御尽力いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

令和6年度は、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、チームのエースとして金メダル獲得に大きく貢献した車いすラグビーの橋本勝也選手をはじめ、四大会分の思いを込めて挑んだ今大会で、悲願の銀メダルを獲得した柔道の半谷静香選手、二大会連続で銅メダルを獲得したバドミントン混合ダブルスの渡辺勇大選手と五十嵐有紗選手、アシスタントのお母様とともに初出場し、正確なショットで二つの銅メダルを獲得したボッチャの遠藤裕美選手など、多くの本県選手が世界の舞台で活躍しました。

また、佐賀県で開催された第78回国民スポーツ大会では、ウエイトリフティング・軟式野球・バドミントン・自転車・弓道の各競技種目における優勝をはじめ、多くの種目で入賞を果たすなど、本県選手の活躍は、県民にたくさんの勇気と感動を届けてくれました。

県では、「生涯スポーツ」「競技スポーツ」「障がい者スポーツ」「オリンピック・パラリンピックのレガシー」の4つの柱で構成された「福島県スポーツ推進基本計画」をもとに、「楽しむ」「競う」「ともに」「つなぐ」という視点で、スポーツに親しみながら地域で心身ともに健やかに暮らすことができる「スポーツふくしま」の実現を目指しております。

スポーツ推進委員の皆様には、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団をはじめとする地域スポーツ団体との連携・協働を促進していただくとともに、今後も地域スポーツ推進の重要な担い手として、それぞれの立場でお力を発揮していただきますようお願いいたします。

結びに、福島県スポーツ推進委員協議会の御発展と皆様のますますの御活躍をお祈り申し上げます。挨拶といたします。

令和6年度スポーツ推進委員功労者等表彰受賞者一覧

スポーツ推進委員功労者文部科学大臣表彰被表彰者

No	支部名	市町村名	氏名	No	支部名	市町村名	氏名
1	南会津	下郷村	玉川 森男	2	岩瀬	須賀川市	吉田 澄子

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合功労者被表彰者

No	支部名	市町村名	氏名	No	支部名	市町村名	氏名
1	福島	福島市	水戸 眞由子	3	田村	三春町	三瓶 清友
2	北会津	会津若松市	石井 久子	4	南会津	南会津町	熊ヶ谷 頼子

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合優良団体被表彰団体

No	支部名	市町村名	団体名
1			該 当 な し

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合30年勤続被表彰者

No	支部名	市町村名	氏名	No	支部名	市町村名	氏名
1	福島	福島市	水戸 眞由子	3	福島	川俣町	黒澤 敏雄
2	田村	三春町	三瓶 清友				

東北地区スポーツ推進委員協議会功労者被表彰者

No	支部名	市町村名	氏名	No	支部名	市町村名	氏名
1	福島	福島市	阿部 リヨ	8	伊達	伊達市	宗川 由則
2	安達	二本松市	服部 洋子	9	岩瀬	天栄村	佐藤 照昭
3	石川	古殿町	菅生 昌広	10	田村	田村市	石塚 久美子
4	西白河	西郷村	高木 昇	11	東白川	棚倉町	高橋 三樹
5	北会津	会津若松市	松村 清子	12	両沼	会津美里町	星野 幸子
6	南会津	只見町	佐藤 隆一	13	相馬	相馬市	蜂谷 万幾子
7	双葉	富岡町	渡邊 清竹	14	いわき	いわき市	秋山 里美

福島県スポーツ推進委員協議会功労者

No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名	No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名
1	福 島	福 島 市	大 出 正 浩	19	石 川	平 田 村	渡 邊 澄 子
2			佐 藤 恵 子	20			宗 像 真 一
3			上 野 寛	21		古 殿 町	有 賀 英 基
4			野 理 一 枝	22	西 白 河	白 河 市	佐 藤 ミチ子
5			長谷川 正 仁	23			小 野 吉 之
6			須 田 秀 子	24			須 藤 政 子
7			吉 野 哲 也	25			青 木 清
8		川 俣 町	菅 野 三千代	26			草 野 英 樹
9	伊 達	伊 達 市	渡 邊 茂	27			二野戸 敬 一
10		国 見 町	服 部 利 彦	28	北 会 津	会津若松市	山 中 幸 子
11	安 達	二 本 松 市	東 む め	29			田 中 枝利子
12	岩 瀬	須 賀 川 市	井野元 奈生実	30	耶 麻	北 塩 原 村	佐 藤 伸 俊
13			橋 本 敦	31			梶 木 司
14			薄 井 崇	32	南 会 津	南 会 津 町	湯 田 一 彦
15			小 枝 幸 司	33			渡 部 英 男
16			安 藤 喜 真	34			梁 取 純 子
17	石 川	石 川 町	中 島 一 繁	35	い わ き	い わ き 市	矢 吹 仁 孝
18		平 田 村	遠 藤 光 子				

福島県スポーツ推進委員協議会感謝状被贈呈者

No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名	No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名
1	相 馬 支 部	南 相 馬 市	小 屋 進	2	相 馬 支 部	相 馬 市	武 島 昭 良

文部科学大臣スポーツ推進委員功労者表彰を受賞して



文部科学大臣表彰を受賞して

下郷町 玉川 森 男

第65回全国スポーツ推進委員研究協議会宮崎大会に於いて、文部科学大臣表彰を受賞しました。昨年は、全国功労者表彰を頂き、続けての受賞誠に光栄に存じます。

これもひとえに、下郷町、町教育委員会、町スポーツ推進委員会の同僚委員ならびに先輩方、関係各位の皆様のご支援、ご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。

これまで、小さなスポーツクラブでの活動やスポーツ少年団、ふくしま駅伝チームの指導・育成に携わってきました。子供から高齢者まで町内の様々な行事に関わらせていただいたことにより、幅広い年代の方々とのおふれあいで、楽しさや感動、そして厳しさを経験させてもらいました。一つひとつの活動が現在の私にとって、何ものにも代えがたい支えになっています。

近年は少子高齢化やスポーツ離れ、イベントの縮小や削減など課題は多いですが、「する、みる、ささえる」をスローガンに、自分自身も楽しみながらこれからも活動を継続していきたいと思います。その結果、地域が元気になるような地域活性化につながればこの上ない喜びです。

今後とも、生涯スポーツの推進に貢献できるよう研鑽に努め、同僚委員と共に活動していきたいと思います。引き続き皆様方のご指導、ご支援をお願いいたします。改めてこの度の受賞に対し心より御礼申し上げます。



文部科学大臣表彰受賞に感謝

須賀川市 吉田 澄子

宮崎市で開かれた「第65回全国スポーツ推進委員研究協議会」の席上にて、文部科学大臣表彰をいただき、身に余る光栄なことで大変恐縮している次第です。

今まで支えてくださったスポーツ推進委員の皆様や諸先輩方をはじめ、関係機関の皆様のご理解とご支援のおかげであり、衷心より感謝申し上げます。

振り返ってみますと、活動当初は何にも分からず、無我夢中で悪戦苦闘しながら活動し、多くの研修会・講習会に参加していく中で、様々な経験を積みながら、1歩ずつ成長する事ができました。

さまざまな大会に携わる中で、多くの人々と出会い交流し、とても楽しい時間を過ごすことができ、良き仲間との出会いが人生最高の思い出、財産になっています。誠にありがとうございました。微力ながら今後も協力していく所存です。よろしくお願いいたします。

(公社) 全国スポーツ推進委員連合功労者表彰を受賞して



福島市スポーツ推進委員の大きな仕事

福島市 水 戸 眞由子

この度、宮崎県で開催された全国スポーツ推進委員研究協議会で、功労賞・感謝状を受賞させていただき、改めて30年間福島市のスポーツ推進委員として、多くの皆様と関わりを振り返る事が出来ました。この活動の重厚さに感動し、この立場に身を置かせていただいた事に、心から感謝申し上げます。

学校体育の体育活動から、社会体育・生涯体育という体育活動への移行をした事になりますが、年齢に関係なく身体を考えれば、当然、休憩・休止はない！…中でも、「生きる」という事に焦点を当てれば、体と心のバランスが非常に重要である。という事…体を乗り物として考えれば、どんな運転をするのか？ 年齢に応じた体の特徴を分かりやすく解説しながら、補修・点検・強化への興味付け・実践活動へと繋いでいく…こんな事を考えながら推進委員のユニフォームを着用し各行事に参加してきたように思います。

私は、学生・教員時代から新体操競技に関わっていき、福島市で多くの方々にご支援を戴きながら、新体操ジュニアクラブを立ち上げましたが、競技の特性でもある、体づくりだけではなく、自らの生活習慣の再確認・心の動かし方についても、周りの者と感じ合える事が、生きていく為のパワー（宝物）として自然に授かってくる…という事もお話しもしながら関わってきました。更に、推進員の立場でご縁が始まった中高年齢者の健康体操クラブも36年間活動を今も継続していますが、年に一度の発表会では、3歳から90歳までの各コースの人達で、関わり合う発表会を企画し続けて来ました。スポーツ推進委員という、この立場だからこそできた事だと思います。

小さな思いやり・お声掛けを、家族を超えた所でのお付き合いのできる、実践活動の役割がここにあると思います。



全国スポーツ推進委員連合功労者・
30年勤続スポーツ推進委員表彰を受賞して

三春町 三 瓶 清 友

令和6年度宮崎大会（第65回）に於いて、全国スポーツ推進委員功労者・30年勤続スポーツ推進委員表彰を受賞しました。

平成4年4月に、体育指導委員の委嘱を受け、町民のみなさんの生涯スポーツ振興・発展のための礎になりたいとの志を持ってから32年余りが経過しました。（平成23年に、

名義変更）受賞により、その時の熱い情熱が今淡々と読み返ってきています。そして、益々スポーツ推進委員としての責任・重さが痛感され、一段と厳しく身の引き締まる思いであります。今日の感激を忘れることなく、精一杯取り組み皆様のご期待に添う様、よりいっそう精励する覚悟であります。長年にわたり活動してきた、諸先輩・スポーツ推進委員・地域の方々・町教育委員会・他関係各位に対し、心より厚く御礼・感謝を申し上げます。

これからのスポーツ推進委員の活動については、町民の為の健康維持は勿論、誰もが地域内のスポーツに関する活動の場所に、皆様のご支援ご協力と参加できる環境や場所の提供等に邁進できればと考えています。

今後のスポーツ推進委員の役割をもう一度考え直して、誰でも参加しやすい地域にし、生涯スポーツ・地域の活動に寄与できるように、できることから頑張りたいと思っています。今後もご指導・ご協力をお願い申し上げ、受賞に対しての各関係者への御礼とかえさせていただきたいと思っています。有難うございました。



全国表彰で『感謝・感謝』

会津若松市 石井 久子

昨年11月、宮崎県において開催されました全国スポーツ推進委員研究協議会の席上で、功労者表彰を受賞いたしましたことは、私にとって大変身に余る光栄と思っております。これも諸先輩方のご指導と、活動を共にする推進委員の方々のお力添えによるものと、感謝しております。本当にありがとうございました。

会津若松市スポーツ推進委員としての活動は、月に一度の定例会では会津若松市民体操、ニュースポーツのルール等の確認、他の委員との親睦を深めつつ実技研修をしております。

出前教室も行なっており、学校や団体からの依頼に応じ、ニュースポーツなど年齢や人数に応じた種目を提案します。その後、時間割や班割などを依頼者と何度か協議します。実施日は、依頼者によって多種多様であるため、都合がつく推進委員が講師として出向いています。

また、「ふらばーる」をアレンジし、「あいづフラボール」と命名し、ニュースポーツとして定着させ、市民大会を開くべく研修しています。これは変形したボールのため、バウンドしてもレシーブしてもその後の動きが予想できず、笑いや和みが生まれ親睦には最適な球技だと思います。

8月には市民水泳大会、10月には市をあげての鶴ヶ城ハーフマラソン大会と、スポーツ推進委員は各ポジションで重要な役割を担っております。

私個人としましては、20数年活動しておりますが、東北大会や県大会、講習会等に参加し推進委員としての資質向上も、人として他地域の方々との交流も大変貴重な財産の1つです。1人でも多くの方にスポーツをする楽しさや喜び、人との出会いのお手伝いをしたいと思っております。

今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



全国スポーツ推進委員功労者表彰を受賞して

南会津町 熊ヶ谷 頼子

この度、全国スポーツ推進委員研究協議会宮崎大会において、全国功労者表彰を受賞することができ、大変身の引き締まる思いであり光栄に存じます。受賞に当たり、長年ご指導いただきました諸先輩方や同僚委員、関係各位の皆様のご協力とご理解の賜物と深く感謝申し上げます。

スポーツ推進委員になったきっかけを振り返れば、平成7年に行われた福島国体にさかのぼります。私は県代表として、バレーボール競技選手として大会に出場しました。その時も多くの皆さんのサポートを受け練習に取り組み、大会では優勝することができ、福島県の団体優勝に少しでも貢献できた事にチームメイトと喜びを感じておりました。そのことがきっかけで、平成7年度から田島町体育指導委員として名前を連ねる事になり現在に至っています。

その間、推進委員として様々な活動や研修を通して色々と勉強させていただきました。平成25年には福島県スポーツ推進基本計画が制定され、また体育指導委員からスポーツ推進委員に、その役割や考え方も大きく変化してきました。「する」スポーツから「見る」「支える」事もスポーツであり、スポーツの幅が大きく広がりました。私たちスポーツ推進委員もスポーツイベントなどへの協力に留まらず、企画運営にも積極的にかわり、どのように地域に貢献していくべきか真剣に考える時代になりました。

人口減少、少子高齢化など、深刻な状況の南会津町ですが、町民体力測定や新たなスポーツイベント『まちなかスポレク祭』の企画運営を通して、地域住民が気軽にスポーツに触れる機会を提供するなど、スポーツ推進委員として重要な役割を果たしています。

これからも、地域の皆様の健康維持のために楽しく取り組める生涯スポーツや、スポーツを通した元気な地域づくりに、若い仲間達とともに貢献していきたいと思います。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

(公社) 全国スポーツ推進委員連合30年勤続者表彰を受賞して



30年勤続表彰を受賞して

川俣町 黒 澤 敏 雄

私が体育指導委員（スポーツ推進委員）として活動を開始したのは平成4年4月であります。

当時体育指導委員のサポートとして補助員という制度があり、体育指導委員ではなく補助員であればお手伝い出来るかと応募しましたが、初回打合わせで福島国体があり川俣町もフェンシング大会会場であるため、今回より参加

のみなさんは全員体育指導委員として活動していただく、とのことで体育指導委員としての活動が始まりました。その後福島国体のフェンシング会場として滞りなく閉会し、多くのフェンシング選手が川俣町より輩出したことは記憶に残るところです。

平成22年、東北地区表彰をいただき、平成22年4月からスポーツ推進委員と名称が変わり、コロナ禍の令和2年11月、各大会が中止されるなか全国スポーツ推進委員功労者表彰を受賞いたしました。

コロナ禍も収まり始めた令和6年11月、宮城県宮崎市での全国大会において今回の受彰となりました。

今回の受彰は私一人の活動ではなく、川俣町、スポーツ推進委員、関係各位の協力のもと長く活動出来たものであり、感謝申し上げます。

今後も多くのスポーツ推進委員が活動を邁進出来るよう、関係各位の協力のもと私も活動を継続していきますので、今後ともご指導よろしくお願い致します。ありがとうございました。

東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞して



東北地区功労者表彰を受賞して

福島市 阿 部 リ ヨ

地域の先輩から推薦を受け福島市スポーツ推進委員に仲間入りし、スポーツを通して楽しさを伝え、健康増進を实践してまいりました。スポーツ推進の先輩方のご指導、地域の方々及び森合小学校の児童や関係者の皆さんのご協力、そして家族の支えがあり、東北地区功労者表彰を受賞することができましたことは大変ありがたく身に余る

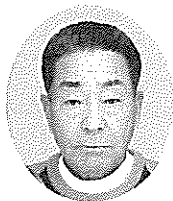
光栄なことで、私にとってかけがえのない財産です。

私の趣味は『唄とスポーツ』です。スポーツは一年を通し推進に携わっております。12月1日に開催されました「第1回ボッチャふくしまカップ2024大会」では、内堀県知事とパリ2024パラリンピック銅メダリストで大会アンバサダーの速藤裕美選手によるオープニングゲームに大勢の観客の惜しみない拍手を間近で見ました。

「親と子の盆踊り」と「森合盆踊り愛好会」に所属し櫓の上で唄っています。7月8月は大忙しですが、毎年、地域の方々の笑顔を見ながら唄える喜びを実感しています。

今後は後進の育成をしながら、地域の行事に参加しコミュニケーションを図っていききたいと思います。福島県スポーツ推進委員協議会のご発展と皆様のご健康とご活躍を心から願い感謝の意を表します。

ありがとうございました。



東北地区功労者表彰を受賞して

伊達市 宗 川 由 則

この度、東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞いたしましたこと、非常に光栄に思っております。これまで指導にご協力いただいた先輩方、そして共に活動してきた推進委員の方々に深く感謝申し上げます。

私が、スポーツ推進委員となったきっかけは、同じ草野球の先輩から引き継いだことでしたが、早いもので30年以

上が経ちました。私は少年時代から野球をしてきて、指導することより、皆でスポーツをする事が好きで、今でもソフトボールチームで頑張っています。地元では、スポーツ少年団ソフトボールの指導者として20年以上、地区の体育協会の会長として14年以上、地区のスポーツ推進に携わってきました。

スポーツ推進委員として、他地区の多くの人々との交流を通して、非常に有意義な時を過ごさせていただきました。今後も地域とのつながりを持ち、地区の皆様の体力向上と健康づくりにお手伝いできるように頑張りたい

と思います。今後ともご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



東北地区功労者表彰を受賞して

二本松市 服部 洋子

この度、東北地区スポーツ推進委員競技協議会功労者表彰を受賞することができました事は、誠に身に余る光栄であります。これも偏に、地域の方々、ともに活動しているスポーツ推進委員の皆様、並びに関係各機関の皆様のご指導、ご協力のおかげと、深く感謝申し上げます。

スポーツ推進委員として、地域の方々の健康づくりのお手伝いができればと思い24余年となりました。研修会、研究大会の参加はもちろん、東和ロードレース大会、ふくしま駅伝競走大会、二本松市一周駅伝競走大会、その他各種イベント・大会等に携わってまいりました。私にとってかけがえのない経験となりました。

また、コロナ禍においては、各活動中止又は縮小となり制限せざるを得ない時期がありましたが、コロナが第5類に移行された事で、今までの活動が少しずつ元に戻り、今後もまたさまざまな各種イベント、大会等において皆様と共に活動できることを願っております。

これからも地域スポーツ活動の発展の為に微力ながら貢献できればと思います。今後とも、御指導、ご支援をよろしくお願い致します。



東北地区スポーツ推進委員功労者
表彰を受賞して

天栄村 佐藤 照昭

この度は、東北地区スポーツ推進委員功労者としての表彰をいただき、大変光栄に思います。今まで微力ながら天栄村における地域スポーツの普及及び発展に努め、その成果が認められた今、私のこれまでの行動が間違っていなかったと確信し、うれしく思います。長年にわたって村内のスポーツの普及と発展に努めてきましたが、これは私一人の力ではなく、同じ地域のスポーツ推進委員の仲間をはじめ、体育協会役員など多くの人々の協力と情熱、そして地域の皆様からの支えがあったからこそであります。その一つ一つの絆が私を支え、つなぎとめてくれました。

心から御礼申し上げます。

スポーツを通じて、地域の絆を深め、人々が一致団結する力を育むことが私の信念です。この表彰はその信念を確認し、希望を与えてくれました。これからも一生懸命に頑張り、より多くの人々がスポーツに親しむ機会を増やすことができるよう活動を続けます。

最後に、このような名誉ある賞を頂いた東北地区スポーツ推進委員協議会様並びに日頃から課題研究等ご指導をいただいております福島県スポーツ推進委員協議会様に改めて深く感謝申し上げると共に、スポーツに係わる関係各位の皆様のご健勝とご多幸を願い挨拶とさせていただきます。



東北地区功労者表彰を受賞して

古殿町 菅生 昌広

この度、令和6年度東北地区スポーツ推進委員功労者表彰を受賞する事ができましたことについて、大変喜ばしく身に余る光栄と感謝申し上げます。

今回の受賞に対しましては、各関係機関の皆様、諸先輩方のご指導ご協力の賜物と感謝し、改めてお礼申し上げます。また、一緒に活動してきたスポーツ推進委員の仲間たちや陰で支えてくれた家族にも感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

振り返ってみますと、平成14年よりスポーツ推進委員として古殿町より委嘱されてから22年間、地域スポーツ、ふくしま駅伝、スポーツ教室などの活動を通じて、多くの人々と出会い交流する事で、さまざまな経験や知識を得る事ができました。特に古殿卓球スポーツ少年団の指導者としてたくさんの子どもの技術向上と心身ともに調和のとれた人材を育成することに携われたことは私にとって素晴らしい財産となりました。

今後も微力ながら健康で心豊かな社会形成のため、そして地域スポーツ振興に貢献していきたいと思っておりますので、皆様のご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。



東北地区功労者表彰を受賞して

田村市 石 塚 久美子

この度、令和6年度東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞しましたこと、誠に光栄であり深く感謝申し上げます。これもひとえに、諸先輩方や現スポーツ推進委員の方々、教育委員会等関係の方々のご指導、ご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

また、スポーツ推進委員の活動を理解してくださった職場の皆様や家族のサポートに感謝しております。〇〇〇さん（主人）ありがとうございました。

私は、平成15年4月に市町村合併前の旧大越町体育指導員に任命（委嘱）され、その後田村市スポーツ推進委員として、地域スポーツ大会の協力やニュースポーツ講習会への参加等、様々な活動を行い、現在に至っております。毎年、6月に開催される女性スポーツ推進委員研修会は楽しみのひとつです。福島県内の女性スポーツ推進委員の方々といろいろな研修を受講し、活力をいただいております。多種多様なスポーツの経験と交流を通じ様々な知識と友人、知人を得ることができました。心身共に健康な地域作りのため、子どもから高齢者まで気軽に、いつでも、どこでも、誰でも、スポーツに楽しめるよう、スポーツ推進委員の一員として携わっていきたいと思っております。

これからも地域のスポーツ活動の発展のため、心新たにスポーツ推進委員として、地域と行政を繋ぐコーディネーターとしての役割を微力ではありますが担っていければと思っております。引き続き皆様方からのご指導、ご協力を頂けますようよろしくお願い申し上げ、受賞の御礼のことばとさせていただきます。



東北地区スポーツ推進委員功労者
表彰を受賞して

・西郷村 高 木 昇

この度は、宮城県石巻市で開催された令和6年度東北地区スポーツ推進委員研修会宮城県大会において、表彰いただき誠にありがとうございます。これも偏に、諸先輩方のご協力とご指導のもと活動を続けられた受賞であり、あらためて感謝申し上げます。

私は昭和54年当時、村内の行政区において、誰もが楽しめる地域活性のひとつとして、ソフトボール競技の拡大に携わっていました。その関係もあり、平成11年に西郷村体育指導員を委嘱され、今日までスポーツ推進委員として活動してまいりました。

この間、各種講習会や地域スポーツ大会などにスポーツ推進委員として参加させていただき、春には観桜ウォーキング、秋には村内一周駅伝大会、さらにはふくしま駅伝大会など、多くの活動に携わることができました。これまでのスポーツ推進委員としての活動では、多くのことを学び、地域の方々や仲間たちと交流を通して成長させて頂いたことは、私にとって大きな財産であります。

また、時代が変わり、少子高齢化を迎え、スポーツ人口の減少が気がりではございますが、スポーツは健康的な体づくりにはなくてはならないものです。スポーツを通して人とのふれあいや仲間との連帯感など、心身を健康に保つためにも、また地域活性のひとつとして、スポーツに親しむことは非常に大切であると思います。

私といたしましても、今後も微力ではございますが、スポーツ推進委員として、地域の方々と交流を深めながら生涯スポーツの振興に寄与できるよう努めてまいりますので、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



東北地区功労者表彰を受賞して

柵倉町 高 橋 三 樹

この度、東北地区スポーツ推進委員功労者表彰を受賞することができたことは、誠に身に余る光栄であります。これも偏に、長期に亘り支えて下さいました地域の方々、沢山の先輩、共に活動しているスポーツ推進委員の皆様並びに関係各機関の皆様のご指導、ご協力のおかげであると深く感謝申し上げます。

私は、平成15年に当時の体育指導員を委嘱され、途中、スポーツ推進委員と名称の変更を経てこれまで活動を続けてまいりました。東白川地区の皆様とはスポーツ推進委員の活動を通して数多くの方たちと交流するなど、今もなお楽しく活動させて頂いております。

現在、学童野球のコーチとして数年間携わっておりますが、勝つ喜びや負けて反省することを子どもたちと共に学ぶ機会が沢山あり、一緒に日々成長している感じです。全国大会にも出場し他県のチームと戦い、得るものも多く貴重な経験をさせてもらうことができ子どもたちには感謝しております。

この様な経験を活かし、地域のスポーツ活動の発展のため微力ながらこれからも貢献していきたいと思ってお

りますので、今後とも皆様方のご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



エンジョイ・スポーツ

会津若松市 松村 清子

パリオリンピックを目前にした7月12日、宮城県石巻市において東北地区スポーツ推進委員協議会功労者賞を賜りました。

スポーツ推進委員（前体育指導員）として拝命されてから16年、諸先輩や活動を通して出会った方々のご指導、ご支援のおかげでこれまで活動することが出来たこと心よ

り感謝申し上げます。

スポーツには素晴らしい力があります。人生100年時代と言われている昨今、健康寿命を延伸することができたら私自身もこんな幸せなことはありません。スポーツを愛する個人としてもアクティブにスポーツを楽しんでいければと思います。

もちろんスポーツ推進委員として地域の生涯スポーツの普及推進に尽力しながら、元気と笑顔が溢れる、健康で明るい地域づくりのお手伝いが出来るよう日々がんばりたいと思っております。

私たちの活動の一つに「出前教室」があります。小学生や中学生、高齢者の方々まで公民館などで開催されている各種教室、市内の各種団体などの依頼でニュースポーツの紹介や実技指導をしております。近所のスーパーで「この間のベタンク楽しかったです。また、教えてくださいね。」「あ、ドッチビーやった時の先生だあ！」などと声をかけられることがあります。些細なことかもしれませんが、私にとってはパワーと充実感、喜びを感じられる一瞬となっております。

これからも、スポーツ推進委員としての役割の理解と資質の向上に努め、皆様と共に活動する中で、人と人との絆を深め、常に感謝する心を持ち精進してまいります。



東北地区功労者表彰を受賞して

会津美里町 星野 幸子

この度、東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を頂戴いたしました。

ひとえに、長年にわたりご指導賜りました諸先輩方、支えていただきました現役メンバーのお陰と、心より感謝申し上げます。

スポーツ推進委員の前身であります体育指導委員の時代にお誘いをいただき、20数年が経過いたしました。その間に会津高田町が合併により会津美里町に名前を変え、体育指導委員会がスポーツ推進委員会にかわり、長かったようであつという間だったような気もいたします。私自身、スポーツ推進委員をお受けしたことでたくさんの知識を得、そして多くの方々と知り合うことができました。みんなスポーツが好きという共通点のある仲間たちです。感謝です。

私たち会津美里町スポーツ推進委員会は、ニュースポーツの普及に努めております。ニュースポーツを通して町民の皆さまと交流を持ち、特に寒い時期には運動から遠ざかってしましがちな年代の方々にも参加していただくことにより、少しでも身体を動かしていただき、なにより笑顔で楽しんでもらえるようにとニュースポーツ教室を開催しております。また、町が主催するニュースポーツ事業にも積極的に協力をしております。

親子で参加して下さったり、シニア女性のサークルで参加して下さったりと年代もさまざまですが、皆さん一様に笑顔になって帰られるのを見ると私たちも元気になるような気がします。

これからも微力ながら若手の育成に力を注ぎ、自分自身も成長できますよう頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。



東北地区功労者表彰を受賞して

只見町 佐藤 隆一

この度は、令和6年度東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を頂きまして、誠にありがとうございました。これも偏に、諸先輩方や現スポーツ推進委員の方々、教育委員会等関係各位の方々のご指導ご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。また、スポーツ推進委員の活動を理解して下さった職場の皆様や家族のサポートに感謝

しております。

私は、スポーツ少年団の指導者時代に旧体育指導委員として辞令を受けて以来、多くの方々に出会い活動を共にして参りました。この間、多くのスポーツに携わることで、微力ながら地域のスポーツ振興、住民の体力向上・健康づくりやスポーツの普及発展、そして子どもから高齢者まで地域が元気で明るい生活を送れるような取り組みをサポートすることができたと思います。

ここ数年は、少子化高齢化やコロナなどの影響にもあり、様々なスポーツチームの減少や各種大会の役員不足など、私たちの取り巻く環境がこれまでとは違ってきております。そのような中ではありますが、スポーツを通し地域全体が元気で明るい生活が送れるよう、仲間と力を合わせて頑張っていきたいと思いますので、今後も皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、受賞の御礼といたします。ありがとうございました。



東北地区功労者表彰を受賞して

相馬市 蜂谷 万幾子

この度、東北地区スポーツ推進委員功労者表彰をいただきまして、心より御礼申し上げます。

これもひとえに、共に活動してきました推進委員の皆様方や各関係者の皆様方のご指導・ご協力の賜物と思い、心より感謝いたします。

思えば、地元の子供ドッチボール大会に付き添っていたところ、市職員の同級生から「体育指導員にならないか」と声をかけられ、「一主婦が指導員とは恐れ多いこと」と一度はお断りしましたが、「子供の付き添いの延長ボランティアだから大丈夫だ」と背中を押され、いざ会合に出席してみると、各方面の名士ばかりでしたが、フレンドリーで気さくな方々でした。子育てが一段落して、自分なりに何か地元のためにできないかと思っていた矢先でしたので、お引き受けしました。

仕事を続けながらの両立でしたが負担にならず、逆に楽しく参加させていただいています。地元の活動は、子供達の歓声や保護者の声援など、いつも活力をいただいています。改編でスポーツ推進委員になってからも、ニュースポーツの推進・普及活動や研修会に、地区・県・東北大会など数多く参加させていただき、基調講演で学び、親交を深めました。小学生の頃からスポーツが好きで、いろいろな関わりをしてきました。心技一体・上下関係・一喜一憂、多くのことを学びました。スポーツにまつわることには、心から感謝しています。

この受賞を励みに、老若男女それぞれに合ったスポーツを見つけるお手伝いをして、健康寿命が少しでも長く保つことができる様、より一層スポーツ推進委員の活動に力を入れていきたいと思います。今後とも、皆様のご指導、ご支援の程よろしく願いいたしまして、受賞のご挨拶とさせて頂きたいと思います。本当にありがとうございました。



東北地区功労者表彰を受賞して

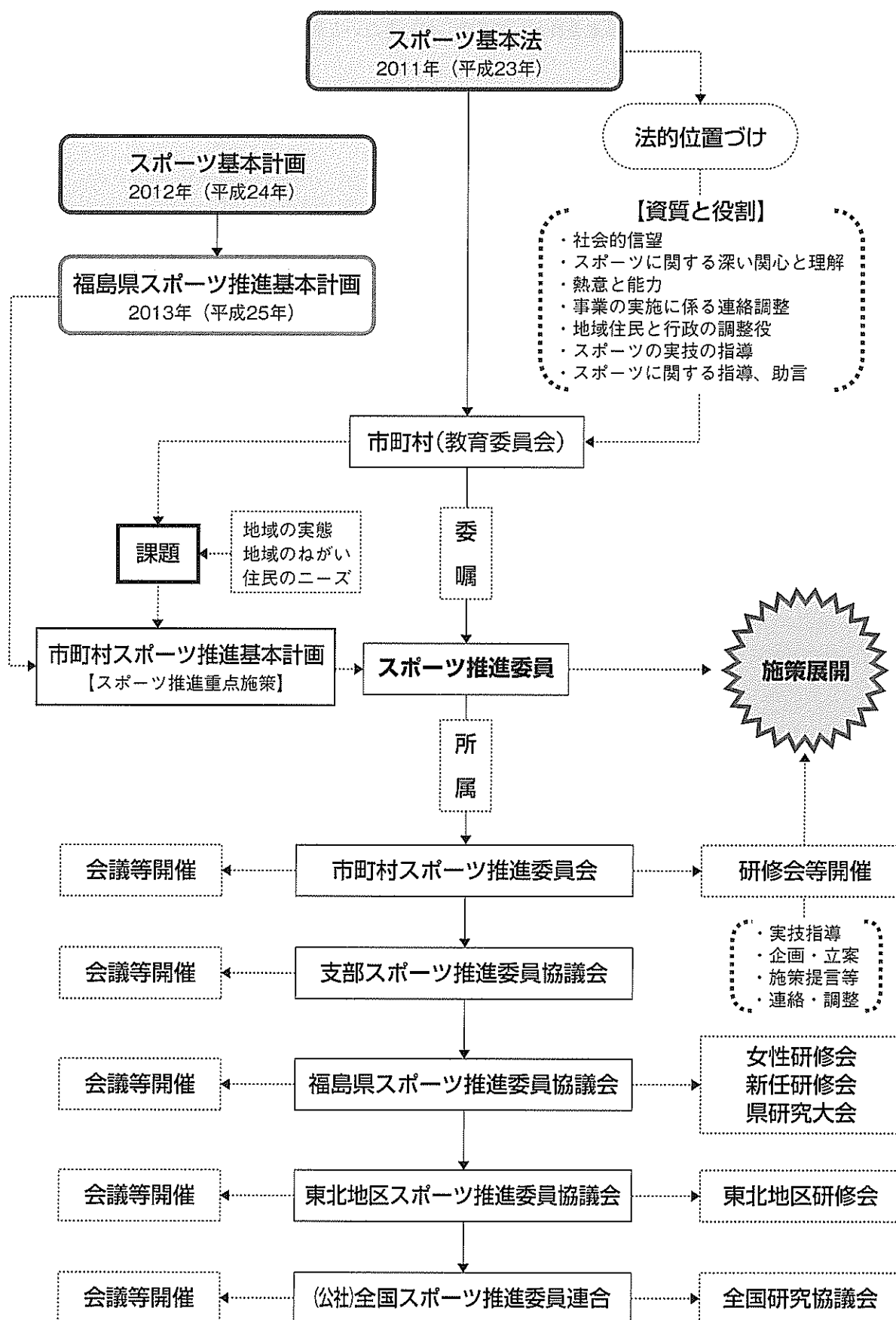
いわき市 秋山 里美

『東北地区の功労賞』を頂いた事に、少し戸惑いを感じました。いわき市スポーツ推進委員として始めたのは、子育て真最中の頃からの参加でしたので、始めた当初は仕事と家事の両立で必死でした。両親にはあまりよく思われず、引け目を感じながらの参加で積極的に自分から推進委員活動をした記憶がありませんでした。更に自分の本来の

仕事のスタジオを抱え、スポ少やサークル指導での外部指導もあり、私は推進委員としての役に立っていないんじゃないかと、自問自答を繰り返していました。その度に、周囲の推進委員の諸先輩方から、その都度『大丈夫だから、自分のペースで無理しないで。』と励まされたお陰で、何とか今までの年月を乗り切って来られたのだと思います。そして気が付けば、アツという間に自分がその諸先輩方と同じ年になってしまい、この『東北地区スポーツ推進委員功労賞』を頂いたという事は、私は、これからが推進委員としての本領発揮の時期と覚悟して、あとに続く若い方々に引き継いで貢献したいと思っています。いわき市は、面積が広大な中核都市で、広いが故の問題点や課題が、たくさんあるように思います。公共交通機関の便の悪さ、高齢化、健康意識と体力や学力及び生活力の二極化等も考えられるので、それらを少しでも良い方向へ方向転換できるようにする為にも、『スポー

ツのチカラ』で関わっていくことが重要だと思います。そして、広大ないわき市で、各支部同士推進委員の連絡や協力体制を作る方法も考慮しながら、これからの若い年齢層の方々も推進委員として参加活動しやすくするためには、どうしたらよいのか？も、重要な課題だと思います。最後になりますが、また、新たな気持ちで、自分にできる事を模索しながら、スポーツ推進委員として活動していきたいと思っています。

スポーツ推進委員の役割（令和6年3月31日現在）



《スポーツ推進委員の資質》

- 社会的信望がある。
- スポーツに関する深い関心と理解がある。
- 職務を遂行する熱意と能力がある。
- 事業の実施に係る連絡・調整を行うことができる。
- 地域住民に対してスポーツの実技指導ができる能力を有する。
- 地域におけるスポーツに関する指導及び助言ができる能力を有する。

《スポーツ推進委員の役割》

- 指導・助言：地域スポーツ大会やスポーツ教室等の運営や指導・助言
- プランナー：各種事業や住民の意識調査、スポーツ振興計画作成への参画
- コーディネーター：各種事業の円滑な運営のための連絡・調整

《スポーツ推進委員の法的位置づけ》

体育指導委員制度は1957年（昭和32年）文部省が地域に密着したスポーツの振興を図るために、都道府県教育委員会に対し「地方スポーツの振興について」の文部事務次官通達を発し、併せて必要な助成措置を行なった。

1961年（昭和36年）スポーツ振興法の制定と同時に、同法第19条において体育指導委員が位置づけられ、市町村教育委員会に非常勤公務員として必置規制がなされた。

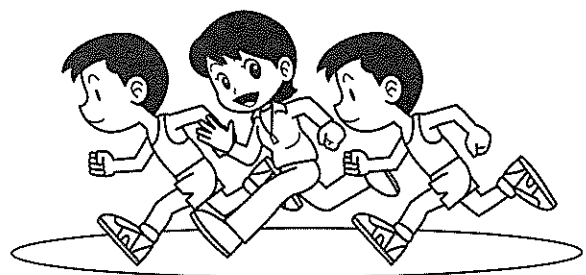
1999年（平成11年）「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」が成立したことに伴い、同年8月にスポーツ振興法の一部改定が行なわれ、体育指導委員必置規制の弾力化が図られた。

さらに2011年（平成23年）スポーツ振興法（昭和三十六年法律第百四十一号）が全面改正され、スポーツ基本法が施行された。そこではスポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整としての役割が規定上追加され、当該職務をより適切に表す観点から、「スポーツ推進委員」に名称を変更した。

= スポーツ基本法 条文 =

第三十二条 市町村の教育委員会（特定地方公共団体にあっては、その長）は、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。

- 2 スポーツ推進委員は、当該市町村におけるスポーツの推進のため、教育委員会規則（特定地方公共団体にあっては、地方公共団体の規則）の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとする。
- 3 スポーツ推進委員は、非常勤とする。



ふくしま広域スポーツセンター事業

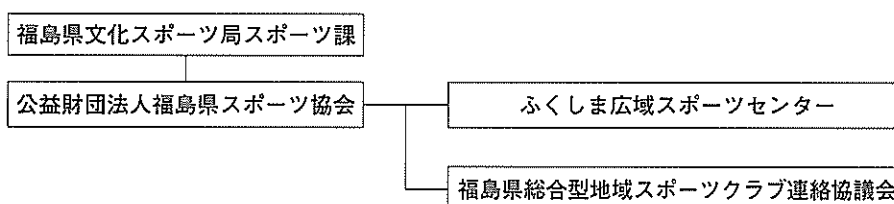
【ミッション】

ふくしま広域スポーツセンターは、県民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動を実践できる「生涯スポーツ社会の実現」を目指すため、総合型地域スポーツクラブの創設・育成・定着をより一層促進させ、人と地域が活力に満ちあふれる活動ができるよう支援します。

【ビジョン】

- 1 地域の特性を生かした総合型地域スポーツクラブの自主自立に向けた支援を行います。
- 2 各種団体との連携による総合型地域スポーツクラブの活性化を図ります。

【組織図】



【ふくしま広域スポーツセンターの役割】

- 総合型地域スポーツクラブの設立や運営に関する支援
- 総合型地域スポーツクラブのマネジャーや指導者の養成に関する支援
- 広域市町村圏におけるスポーツ振興に関する支援

【総合型地域スポーツクラブとは】

人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブです。

- (1) 子どもから高齢者まで（多世代）
- (2) 様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）
- (3) 初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）

この3つの特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブを言います。

（引用：文部科学省ホームページより）

【福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会】

県内で活動する総合型地域スポーツクラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図ることを目的として設立された公益財団法人福島県スポーツ協会組織内組織です。

県内で設立されている78の総合型地域スポーツクラブの内、公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会登録・認証制度に登録された43の総合型クラブによって構成されており、「スポーツを核とした豊かなコミュニティの創造」を基本理念として活動しています。

第65回全国スポーツ推進委員研究協議会 宮崎大会 報告

1 趣 旨

全国のスポーツ推進委員が一堂に会し、スポーツ推進委員の目指す方向性や地域スポーツの今日的な課題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質の向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。

2 主 催

スポーツ庁 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合
宮崎県スポーツ推進委員協議会 宮崎県教育委員会 宮崎市

3 主 管

第65回全国スポーツ推進委員研究協議会鹿児島県実行委員会

4 期 日

令和6年11月13日（木）～15日（金）

5 大会テーマ

「既成概念からの脱却」～宮崎で共に創る新たなスポーツの世界～

6 内 容

(1) 講 演

演 題 「スポーツのちからと地域社会」

講 師 増田 明美 氏 スポーツジャーナリスト・大阪学芸大学教授

(2) シンポジウム

テーマ 「これまでのスポーツ、これからのスポーツ」

コーディネーター 松尾 哲矢 氏（立教大学 教授）

シンポジスト 工藤 泰宏 氏（武庫川女子大学 教授）

兒玉 友 氏（日本福祉大学 教授）

岡本真奈美 氏（宮崎県スポーツ推進委員協議会 会長）

(3) 分科会

・第1分科会テーマ 「『つくる／はぐくむ』視点でのスポーツ推進」

コーディネーター 松尾 哲矢 氏（立教大学 教授）

発表者1 和田 保典 氏（公益財団法人宮崎県スポーツ協会 事業部長）

発表者2 金川 敏洋 氏（一般社団法人串間スポーツクラブ 理事長）

発表者3 瀬戸口美智子 氏（宮崎県スポーツ推進委員協議会 副会長）

・第2分科会テーマ 「『あつまり、ともに、つながる』視点でのスポーツ推進」

コーディネーター 工藤 康宏 氏（武庫川女子大学 教授）

発表者1 小嶋 崇嗣 氏（宮崎県新富町長）

発表者2 山子 剛 氏（国立大学法人宮崎大学工学部 准教授）

発表者3 神河 美樹 氏（NPO 法人都城ほんちスポーツクラブ 事業課長）

・第3分科会テーマ 「『誰もがアクセスできる』視点でのスポーツ推進」

コーディネーター 兒玉 友 氏（日本福祉大学 准教授）

発表者1 木下 大輔 氏（株式会社ボラシェア 就労促進室 室長）

発表者2 秋本 範子 氏（ヴィアマテラス宮崎 代表理事）

発表者3 松元 春香 氏（医療法人岡田整形外科 理学療法士）

7 参 加 者

全国 2977名 福島県 27名（9市町村より）



令和6年度東北地区スポーツ推進委員研修会 宮城県大会 報告

1 目 的

地域スポーツの推進者としての役割を担うスポーツ推進委員の資質の向上を図るため、東北各県から市町村において中心になって活躍しているスポーツ推進委員の参集を求め、地域スポーツ普及・振興に関する諸事項について、講演や実技研修を通して研修を行う。

2 主 催

公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合 東北地区スポーツ推進委員協議会
宮城県スポーツ推進委員協議会 宮城県

3 共 催

石巻市 東松島市教育委員会 女川町教育委員会

4 主 管

東北地区スポーツ推進委員研修会宮城県大会実行委員会、石巻地区スポーツ推進委員協議会

5 後 援

スポーツ庁 福島県 山形県 秋田県 青森県教育委員会 岩手県

6 期 日

令和6年7月12日（金）～13日（土）

7 会 場

マルホンまきあーとテラス（石巻市複合文化施設）

石巻南浜津波復興祈念公園

奥松島運動公園体育館

女川町総合運動場女川町総合体育館

8 参 加 者

東北各県のスポーツ推進委員

東北各県及び各市町村スポーツ担当者、スポーツの指導に興味・関心がある方

9 内 容

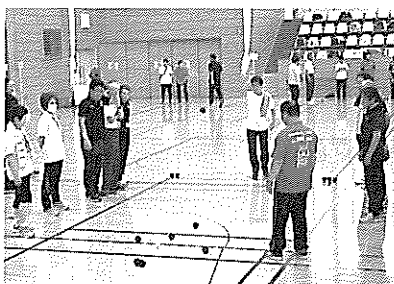
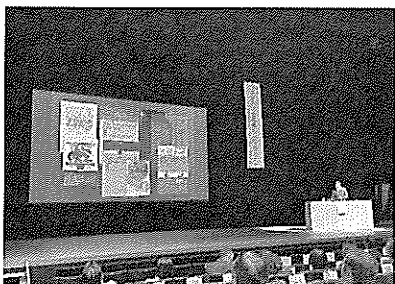
(1) 講演Ⅰ 演 題 「スポーツを活用した町の未来」

講 師 原田 宗彦 氏

(2) 実 技 Ⅰ ウォーキング（石巻地区スポーツ推進委員連絡協議会）

Ⅱ ディスコン・ニチレクボール（宮城県レクリエーション協会）

Ⅲ モルック・スポーツウエルス吹矢（宮城県レクリエーション協会）



令和6年度福島県スポーツ推進委員研究大会 報告

1 目 的

県内各市町村のスポーツ推進委員が一堂に会し、それぞれの地域におけるスポーツの実践活動及び研究の成果を発表・協議し、スポーツ推進委員の資質の向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。

2 主 催

福島県スポーツ推進委員協議会

3 共 催

白河市

4 後 援

福島県

5 主 管

西白河地方スポーツ推進委員連絡協議会

6 期 日

令和6年10月18日（金）～10月19日（土） 2日間

7 会 場

白河文化交流館コミネス 白河市総合運動公園 中央体育館

8 参 加 者

スポーツ推進委員及び市町村教育委員会スポーツ担当者 350名

9 内 容

(1) 講 演

講 師：東京2020パラリンピックボッチャ競技日本代表監督

村上 光輝 氏

演 題：「スポーツの価値」

(2) パネリスト

テ ー マ：「地域指導者の発掘と育成に向けて」

ファシリテーター：公益財団法人笹川スポーツ財団 澁谷 茂樹 氏

パネリスト：喜多方市スポーツ推進委員会 代表 津瀧 悟 氏

パネリスト：川俣町スポーツ推進委員会 代表 氏家美代子 氏

パネリスト：西郷村スポーツ推進委員会 代表 高橋ひろ子 氏

パネリスト：白河市スポーツ推進委員会 代表 須永 敏行 氏

(3) 実技研修

① ボッチャ

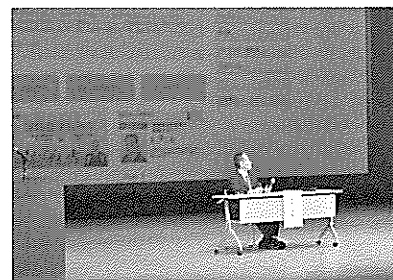
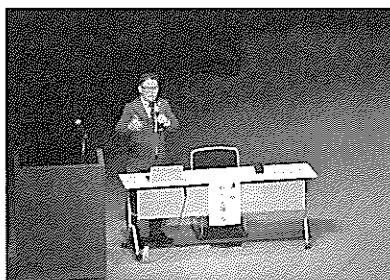
講師：村上 光輝 氏

② モルック

講師：ふくしまモルッククラブ

③ スポーツウエルス吹矢

講師：白河市スポーツウエルス吹矢協会



4 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合優良団体表彰

平成 7 年	平成 8 年	平成 9 年	平成 10 年	平成 11 年	平成 12 年
郡山市体育指導委員会	会津若松市体育指導委員会	二本松市体育指導委員会	須賀川市体育指導委員会	いわき市体育指導委員会	喜多方市体育指導委員会
平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
白河市体育指導委員会	相馬市体育指導委員会	福島支部体育指導委員連絡協議会	三春町体育指導委員会	北会津管内体育指導委員連絡協議会	南相馬市体育指導委員会
平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年
安達地方体育指導委員連絡協議会	岩瀬管内体育指導委員連絡協議会	いわき市体育指導委員会	喜多方市体育指導委員会	白河市スポーツ推進委員会	相馬市スポーツ推進委員会
平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
該 当 な し	伊達地方スポーツ推進委員連絡協議会	該 当 な し	本宮市スポーツ推進委員会	福島市スポーツ推進委員会	田村市スポーツ推進委員会
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
会津若松市スポーツ推進委員会	該 当 な し	該 当 な し	南相馬市スポーツ推進委員会	該 当 な し	該 当 な し

5 文部大臣表彰（平成13年以降文部科学大臣表彰）

昭和 57 年	昭和 62 年	平成 4 年	平成 7 年(健令設20周年記念)	平成 9 年	平成 12 年
渡辺 市松(福島)	駒西 五郎(二本松)	細川 健(福島)	佐々木 幸一郎(福島)	佐藤 金一(伊達)	伊藤 光春(郡山)
遠藤 久雄(喜多方)	遠藤 輝雄(須賀川)	阿部 貞彦(郡山)	加藤 浩(喜多方)	村田 力哉(郡山)	吉田 博一(矢祭)
鈴木 一平(いわき)	小林 重信(鹿島)	都 芳一(鹿島)	穴戸 弘典(富岡)	難波 平八郎(白河)	松崎 繁(喜多方)
				常盤 利昭(大館)	
平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
永山 美智子(郡山)	齋藤 元(郡山)	渡部 孝美(会津若松市)	塩田 一恵(柳津)	小林 正彦(二本松)	今野 剛光(福島)
鈴木 周則(塩川)	根本 重勝(表郷)	石田 隆一(原町市)	渡邊 満男(白河)	薄 俊昭(会津美里)	高崎 教正(いわき)
平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年
鈴木 文男(塩町)	堀 正治(郡山)	菅野 哲男(伊達)	柳 沼 暢(郡山)	高橋 光子(福島)	山崎 光彦(福島)
阿部 輝雄(喜多方)	佐藤 成行(須賀川)	坂本 満恵(いわき)	斎藤 徹(安達)	安田 仙松(福島)	小針 孝廣(西白河)
平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
松崎 和美(郡山)	岡田 長次(石川)	菅野 力雄(安達)	穂積 忠芳(西白河)	佐藤 奈美子(いわき)	松田 義(福島)
古川 昭雄(会津若松)		石井 文和(岩瀬)	日下 秀男(相馬)	鈴木 太一(東白川)	遠藤 仁(北会津)
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
大塚 恭一(西白河)	會川 新平(いわき)	小屋 進(相馬)	本多 春子(東白川)	佐原 孝男(安達)	玉川 森男(南会津)
武島 昭良(相馬)	米津 とき子(相馬)	菅野 敬(安達)	野田 恒夫(福島)	沼澤 行晴(福島)	吉田 澄子(岩瀬)

福島県スポーツ推進委員協議会規約

第1章 総 則

第1条 本会は、福島県スポーツ推進委員協議会と称し、事務所を福島県企画調整部文化スポーツ局スポーツ課内におく。

第2章 組 織

第2条 本会は、福島県内各市町村スポーツ推進委員をもって組織する。

第3条 本会は、次の地区に16の支部協議会をおく。

- (県北地区) 福島、伊達、安達
- (県中地区) 郡山、岩瀬、石川、田村
- (県南地区) 西白河、東白川
- (会津地区) 北会津、耶麻、両沼
- (南会津地区) 南会津
- (相双地区) 双葉、相馬
- (いわき地区) いわき

2 南会津及びいわき支部協議会を除く各支部協議会は、教育事務所管内ごとに地区協議会をおくことができる。

第3章 目的及び事業

第4条 本会は、会員相互の連絡を図り、スポーツ推進委員の資質向上と、体育・スポーツの推進に寄与することを目的とする。

第5条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 体育・スポーツに関する情報交換
- (2) 体育・スポーツに関する研修
- (3) 体育・スポーツに関する調査研究
- (4) その他目的達成に必要な事業

第4章 役 員

第6条 本会に、次の役員をおく。

会長1名、副会長7名、理事長1名、理事22名、監事3名、幹事若干名

第7条 会長及び副会長の選出は、次のとおりとする。

- 2 会長及び副会長は、地区から選出の各1名（以下、地区選出者）及び女性委員代表とする。
- 3 会長は、地区選出者の中から互選によって定める。
- 4 副会長は、会長に互選された以外の地区選出者及び女性委員代表とする。

第8条 理事は、各支部協議会より1名選出し、会長が委嘱する。このほか会長は、各地区より選出された女性委員1名及び学識経験者を理事として指名し、委嘱することができる。

2 理事長は、理事の互選とする。

第9条 監事は、県北・県中・県南で1名、会津・南会津で1名、相双・いわきで1名を選任する。

第10条 幹事は、会長が委嘱する。

第11条 役員の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を総理する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 理事長は、会務を掌理する。

- (4) 理事は、理事会を組織し、重要事項を審議する。
- (5) 監事は、本会の会計を監査する。
- (6) 幹事は、理事長の命により庶務・会計を司る。

第12条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。補充の場合は前任者の残任期間とする。また任期満了といえども後任者決定までは、その職務を行うものとする。

第13条 この会に顧問をおくことができる。顧問は理事会の推薦によって会長がこれを推戴し、重要事項の諮問に応ずる。

第5章 会 議

第14条 本会に次の会議を置く。

- (1) 役員会
- (2) 理事会
- (3) 総 会

第6章 役 員 会

第15条 役員会は第7条の会長、副会長、第8条2項の理事長をもって構成する。

- 2 役員会の議長は会長とし、議事は出席者の過半数をもって決定する。
- 3 役員会は、会長が必要と認めたときに会長が招集する。
- 4 役員会は次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他会務執行に関する事項

第7章 理 事 会

第16条 理事会は第7条の会長、副会長、第8条の理事をもって構成する。

- 2 理事会の議長は会長とし、議事は出席者の過半数をもって決定する。
- 3 理事会は年3回開催し、次の事項を議決する。
 - (1) 役員会で審議された、総会に付議すべき事項
 - (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
 - (3) 事業計画及び収支予算の変更

第8章 総 会

第17条 総会は各市町村代表者1名をもって構成する。

- 2 総会の議長は総会構成委員の中から選出し、議事は出席者の過半数をもって決定する。
- 3 総会は年1回開催し、次の事項を議決する。
 - (1) 事業計画及び収支予算
 - (2) 事業報告及び収支決算
 - (3) 規約の改正
 - (4) 役員の選出
 - (5) その他重要事項

第9章 委 員 会

第18条 本会に表彰選考委員会、総務委員会、研修委員会、事業委員会をおくことができる。

- 2 表彰者選考委員会は、各種表彰の選考をおこなう。この会の委員は会長が委嘱し、副会長及び理事長とする。

このほか、会長が必要と認める場合には、若干名の委員を委嘱することができる。

- 3 総務委員会は、本会のPR活動（会報の発行、HP作成等）、各種団体との連絡調整、「みんなのスポーツ」「手帳」の購読・購買推進等をおこなう。この会の委員は、副会長2名、理事長、理事4名、女性委員4名とする。
- 4 研修委員会は、研究大会・新任研修会・女性研修会の企画立案・運営をおこなう。この会の委員は、副会長3名、理事5名、女性委員6名とする。
- 5 事業委員会は、ニュースポーツの普及、地域スポーツ事業の推進、総合型地域スポーツクラブとの連携等をおこなう。この会の委員は、副会長2名、理事6名、女性委員6名とする。

第10章 会 計

第19条 本会の経費は、市町村負担金、スポーツ推進委員の会費、補助金、寄附金及び事業収入、その他をもってあてる。

第20条 本会の会計年度は毎年4月1日にはじまり翌年3月31日に終る。

第11章 会長専決事項

第21条 本会の歳出に予算更生が必要になった場合及び緊急を要する事項が生じた折は、会長がこれを専決処理することができる。

ただし、専決処理事項については、理事会に報告し承認を得なければならない。

第12章 補 則

第22条 本会に次の帳簿をおく。

会計簿、議事簿、その他必要な帳簿

第23条 本会に必要な細則は別に定めることができる。

附 則

この規約は昭和33年5月16日から施行する。

(略)

一部改正

昭和36年2月22日	昭和47年6月21日	平成9年5月13日	平成24年5月8日
昭和37年7月3日	昭和48年6月19日	平成15年5月14日	平成29年5月16日
昭和41年6月1日	昭和57年4月16日	平成16年5月12日	
昭和46年5月25日	平成4年5月8日	平成20年5月13日	

福島県スポーツ推進委員協議会表彰規程

第1条 本協議会が表彰を行う場合は、この規程の定めるところによる。

第2条 この表彰はつぎの各号の1に該当するものに対し、表彰状を授与して行うものとする。

- 1 長年にわたり、本協議会の運営に功績のあったもの。
- 2 長年にわたり、スポーツ推進委員又は、体育指導委員等として、その属する地域において、体育・スポーツ振興のため功績のあったもの。
- 3 前各号のほか、本協議会の事業等に特段の功績のあったもの。

第3条 地区スポーツ推進委員協議会の代表者は、前条に該当すると認められるものがあるときは被表彰者の推薦書を作成し、毎年福島県スポーツ推進委員研究大会1か月前までに 会長あて提出するものとする。

第4条 会長は、前条により推薦された被表彰者につき、選考委員会にはかり、被表彰者を決定する。

- 1 選考委員会委員は会長が委嘱する。

第5条 被表彰者に対しては、毎年福島県スポーツ推進委員研究大会の際に会長が、表彰状を授与して表彰する。

第6条 本協議会役員として、3期（6年）以上務め退任する場合は理事会の承認を得て、感謝状並びに記念品を贈呈する。

附 則

- 1 この規程は、昭和47年6月21日より施行する。
- 2 昭和48年6月19日 一部改正
- 3 平成7年5月10日 一部改正
- 4 平成24年5月8日 一部改正

福島県スポーツ推進委員協議会表彰に関する申し合わせ事項

- (1) 10年以上にわたりスポーツ推進委員として社会体育振興に精励した者を、各支部スポーツ推進委員協議会の代表が本協議会へ推薦する。
- (2) スポーツ推進委員功労者推薦書には、必ず表彰候補者の選考にあたった選考委員名を記載したものを添付する。
- (3) 表彰候補者の選考にあたり、各支部スポーツ推進委員協議会の代表者は選考委員会を設置して公正な選考がなされるようにする。

東北地区スポーツ推進委員協議会表彰規程

第1条 この規程は、本会規約第4条第5項に規定する表彰に関し必要な事項を定める。

第2条 スポーツ推進委員に在任中で、その期間が15年を経過し、次の各号のいずれかに該当する者を表彰する。
ただし、全国連合の普通会員であり、「スポーツ推進委員手帳」、「みんなのスポーツ」のいずれかを、購入または購読していることを条件とする。

- (1) 多年にわたり、本協議会の発展に功績のあった者
- (2) 多年にわたり、地域の社会体育振興に功績のあった者
- (3) 多年にわたり、各種研修会に参加した者
- (4) 前各号の他、本協議会の事業に顕著な実績のあった者

第3条 各県協議会は、前条に該当する者について、被表彰者推薦者名簿及び功労者推薦調書を作成し、毎年5月30日まで会長に提出するものとする。

第4条 会長は、前条により推薦された候補者について審査し、決定する。

第5条 表彰は、東北地区スポーツ推進委員研修会の開会式時に行う。

第6条 表彰者の功を顕彰するため表彰者名簿に登載し保存する。

附 則

この規程は、昭和56年4月1日より施行する。	平成23年10月6日一部改正
昭和61年6月20日一部改正	(スポーツ基本法施行による)
平成4年7月17日一部改正	平成25年7月11日一部改正
平成9年7月11日一部改正	平成27年7月9日一部改正
平成11年11月10日一部改正	令和5年7月6日一部改正
平成22年7月9日一部改正	

東北地区スポーツ推進委員協議会表彰に関する福島県の申し合わせ事項

- (1) 15年以上にわたりスポーツ推進委員として社会体育振興に精励した者を、各支部スポーツ推進委員協議会の代表が本協議会に推薦する。
- (2) スポーツ推進委員活動年数、年齢、県・支部等役職などを考慮する。
- (3) スポーツ推進委員功労者推薦書には、必ず表彰候補者の選考にあたった選考委員名を記載したものを添付する。
- (4) 表彰候補者の選考にあたり、各支部スポーツ推進委員協議会の代表者は選考委員会を設置して公正な選考がなされるようにする。
- (5) スポーツ推進委員の自己研鑽の一環として、本連合機関誌「みんなのスポーツ」、または本連合発行の「スポーツ推進委員手帳」のいずれかをすでに個人で購読・購入していることとする。また、表彰年度も継続して購読・購入していることとする。
- (6) 各支部からの推薦は3名以内とする。
- (7) 推薦調書には以前の実績についても記入する。
- (8) 福島県スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受けていること。

全国スポーツ推進委員連合表彰に関する福島県の申し合わせ事項

最終改正 平成30年2月24日

- (1) 20年以上にわたりスポーツ推進委員として社会体育振興に精励した者を、各支部スポーツ推進委員協議会の代表が、各支部1名本協議会へ推薦する。
- (2) 県の役員としての貢献度を重視し、活動年数・範囲・年齢・各地区での役職、方部等を考慮する。
- (3) 東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受けた者で、5年以上経過していること。
- (4) スポーツ推進委員の自己研鑽の一環として、本連合機関誌「みんなのスポーツ」及び本連合発行の「スポーツ推進委員手帳」をすでに個人で購読・購入していることとする。また、表彰年度も継続して購読・購入していることとする。
- (5) スポーツ推進委員功労者推薦書には、必ず表彰候補者の選考にあたった選考委員名を記載したものを添付する。
- (6) 表彰候補者の選考にあたり、各支部スポーツ推進委員協議会の代表者は選考委員会を設置して公正な選考がなされるようにする。
- (7) 優良団体の推薦については、県研究大会を開催した市を推薦していく。その後は「公益社団法人スポーツ推進委員連合優良団体表彰要項」にある選考基準に基づき、1団体を選考し推薦する。

スポーツ推進委員グッズの頒布について

(公社) 全国スポーツ推進委員連合では、スタッフジャンパーやポロシャツ等のスポーツ推進委員グッズを頒布しています。

ご希望の方は、品名・数量・送付先等を明記のうえ、郵送又はFAXにて下記宛に直接お申し込みください。

【取扱品及び価格】

品 名	単価(税込)	品 名	単価(税込)
①ジャンパー(シルバー、刺繍可)	6,600円	⑧スポーツ推進委員ハンドブック	1,000円
②ポロシャツ(ホワイト・ネイビー、刺繍可)	2,950円	⑨バッジ	1,530円
③長袖ポロシャツ(ホワイト・ネイビー、刺繍可)	3,260円	⑩タイ留め	1,530円
④ネクタイ(ネイビー・グリーン)	3,260円	⑪ピンブローチ	1,530円
⑤ハンドタオル(イエロー)	610円	⑫カフス、タイ留めセット	3,050円
⑥マフラータオル(イエロー)	1,020円	⑬トートバッグ	815円
⑦ハンカチタオル(ピンク・グリーン・イエロー)	410円	⑭クリップファイル	880円
★ 価格は税込み、送料は実費となります。 ★ お届けは名入りジャンパー、ポロシャツについては2週間、その他は1週間程度です。			

【申 込 先】

公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 403

TEL/03-6804-3341 FAX/03-6804-3342

ホームページ <http://www.zentaishi.com/>

「みんなのスポーツ」購読申込みについて

福島県スポーツ推進委員協議会では、(公社) 全国スポーツ推進委員連合機関誌『みんなのスポーツ』の定期購読(年間購読料5,450円)を推奨しています。購読希望者は、各市町村の事務担当者または下記にお申し込みください。

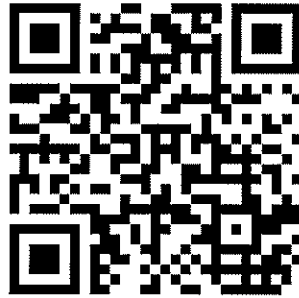
【申 込 先】

(株)日本体育社

〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13

TEL 03-3811-6911 FAX 03-3811-6290

メールアドレス koudoku@minaspo.net



二次元コード

福島県ホームページ
福島県スポーツ推進委員協議会

福　　ス　　ポ　　　　　第 48 号

令和 7 年 3 月 1 日発行

発　行　所　〒960-8670　福島市杉妻町 2-16
福島県文化スポーツ局スポーツ課内
福島県スポーツ推進委員協議会
T E L (024) 521-7995

編　集　人　松　田　　義
発　行　人

印　刷　所　(株) 山 川 印 刷 所
福島市庄野字清水尻 1-10
T E L (024) 593-2221

表紙写真／令和 6 年度福島県スポーツ推進委員研究大会
白河市　小峰城の桜

